

B型肝炎ワクチン



2016年10月1日から、B型肝炎予防ワクチンが定期接種となりました。



定期接種の対象は？接種はいつからできるの？

生後2ヶ月以降、お誕生日前の0歳児が定期接種の対象です

但し、定期接種開始の今年度は **2016年4月1日以降に生まれた赤ちゃんのみ** 定期接種の対象となります。つまり2016年3月以前に生まれた赤ちゃんは任意接種（自費）となります。



B型肝炎予防ワクチン定期接種の接種期限はありますか？

あります。接種期限は赤ちゃんが1歳の誕生日を迎える前日までです。

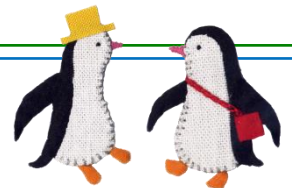
0歳の赤ちゃんだけが定期接種の対象になるので、1歳を迎えてしまうと任意接種の扱いとなり、接種料金（5000円）が発生します。もちろん接種には何の問題もありません。



接種回数は何回ですか？

3回です。1回目の注射から4週間以上あけて2回目の注射を行い、1回目から20週以上の間隔をあけて、3回目の接種をします。

接種スケジュールについてはいつでもご相談ください。



0歳児以外のこどもにB型肝炎ワクチン接種は不要でしょうか？

いいえ。お子さんの年齢にかかわらず、接種をお勧めしたいワクチンです。

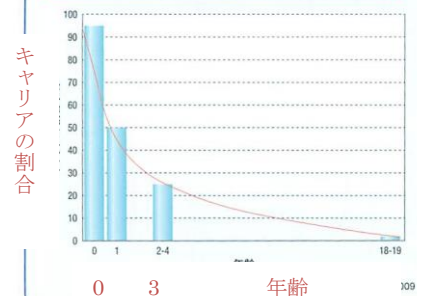
一般的に0歳で感染すると**90%以上が慢性化**（キャリア化）3歳でも**20%以上が慢性化**（右図参照）するとされています。

さらに最近、3歳以上で感染しても慢性化しやすい遺伝子型AというタイプのB型肝炎が日本でも広がっています。

そのため年長児や中高生の方にとってもB肝ワクチンは大切なワクチンなのです。

図2 HBVキャリア成立年齢

様々な年齢に感染した患者がHBs抗原キャリアになった割合
（著者によるTaiwan Incidence Studies）



B肝ウイルス慢性化成立年齢

赤ちゃんのはじめてのワクチンに関する御相談、随時受け付けております。
お問い合わせは こども診受付まで（075-693-1600）